

予算決算委員会（全体会）記録

[後期全体会]

1 日時 令和7年6月26日（木曜日）

開 会 午後1時08分
閉 会 午後1時17分

2 場所 議 場

3 出席委員 36人

委 員 長
副委員長
委 員

//

//

//

//

//

//

//

//

//

//

//

//

//

//

//

//

//

//

//

//

//

//

//

//

高久木	田保地	真大智	里憲美
金細野	山川上	博明	茜徳人
福金藤	岡田	敏貴	人彦裕
柏飯	山田	佳勝	樹枝彦
織高	平原	伸ゆ	一る
豊金	岡井	達毅	郎俊
松金	井谷	邦幸	人則
岡舎	部川	智大	享也
押高	田道	大秋	祐彦
東大	島口	寿龍	篤満
谷市	田尾	一雅	一茂
松尾	上本		彦雄
橋			

委	員	松	井	桂	将
	//	横	野		昭
	//	村	石		篤
	//	村	上	和	久
	//	金	厚	有	豊
	//	鋪	田	博	紀
	//	赤	星	ゆかり	
	//	柞	山	数	男

4 欠席委員 1人

委	員	江	西	照	康
---	---	---	---	---	---

5 職務のために出席した者

【議会事務局】

議事調査課長	鳥	取	則	子
議事調査課長代理	酒	井		優
議事調査課議事係長	土	方	智	樹
議事調査課主任	澤	井		将
議事調査課主任	杉	林	睦	美

6 会議の概要

委員長 ただいまから、予算決算委員会を開きます。
江西委員から、都合により欠席するとの連絡がありましたので、御報告いたします。
本日の審査日程は、お手元に配付のとおりであります。
これより、各分科会長の報告を求めます。
まず、金谷総務環境分科会長。

総務環境分科会長 総務環境分科会での審査につきまして、御報告いたします。
当分科会では、送付されました予算案件1件の審査を行いました。
以下、審査の概要を申し上げます。
議案第88号中、環境部所管分の企業・団体向け脱炭素化設備等導入補助事業について申し上げます。
委員から、本事業は2050年までのカーボンニュートラル実現に資する事業だと思うが、どのような周知方法を考えているのかとの質問がありました。
これに対し、当局から、本事業は本市が令和5年度から企業向けに実施している脱炭素セミナーの参加を補助要件としております。これまでのセミナー参加者への直接周知や、令和7年8月に開催予定のセミナーの案内と併せて、本事業の案内を実施する予定としています。
加えて、市及び「チームとやまし」のホームページでの周知のほか、今年度のセミナーに協力いただく金融機関からも周知いただけることになっておりますとの答弁がありました。
これを受けて委員から、本事業による効果と申請件数をどのように見込んでいるのかとの質問がありました。
これに対し、当局から、省エネ診断は中小企業・団体等の脱炭素経営のきっかけになるものと考えており、省エネ設備を導入することで、年間1トン以上のCO₂排出量の削減を見込んでいます。また、令和5年度、令和6年度のセミナーで20社弱に参加

いただいております、ある程度の需要はあると考えておりますとの答弁がありました。

なお、全ての案件について意見の表明はありませんでした。

以上、総務環境分科会の分科会長報告といたします。

委員長 ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 質疑なしと認めます。
次に、松尾厚生分科会長。

厚生分科会長 厚生分科会での審査につきまして、御報告いたします。
当分科会では、送付されました予算案件２件の審査を行いました。
以下、審査の概要を申し上げます。
議案第８８号中、市民生活部所管分の鎮魂花火実施事業について申し上げます。
委員から、本事業は、民間事業者が実施している納涼花火において、戦後８０年を機に鎮魂花火を打ち上げるとのことだが、民間事業者に補助金を出すというものなのかとの質問がありました。
これに対し、当局から、本事業は地元新聞社が実施する納涼花火の皮切りとして、富山市民感謝と誓いのつどい実行委員会が鎮魂花火を１発打ち上げるものです。実行委員会に対して補助を行うもので、地元新聞社に補助を行うものではありませんとの答弁がありました。
なお、全ての案件について意見の表明はありませんでした。
以上、厚生分科会の分科会長報告といたします。

委員長 ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

質疑なしと認めます。
次に、豊岡経済教育分科会長。

経済教育分科会長

経済教育分科会での審査につきまして、御報告いたします。

当分科会では、送付されました予算案件２件の審査を行いました。

以下、審査の概要を申し上げます。

議案第８８号中、教育委員会所管分のメタバース活用事業について申し上げます。

委員から、本事業を利用する児童・生徒は何人と想定しているのかとの質問がありました。

これに対し、当局から、現在、最大５００名までアカウントを登録できるシステムを考えておりますが、先行して実施している自治体を見ますと、常時接続は最大で１０名程度と想定しておりますとの答弁がありました。

これを受けて委員から、今回、本事業に対応する会計年度任用職員を１名配置するとあるが、メタバースを利用する児童・生徒を１０名程度と想定しているのであれば、教育相談等に対応する職員は１名でよいと思うが、想定を超えた場合は対応できないのではないか。

また、利用する児童・生徒がメタバース上の空間に入った際に対応されないことでショックを受けて、今後メタバースを利用しなくなることも考えられる。メタバースでの相談に対応する職員は１名で問題ないのかとの質問がありました。

これに対し、当局から、本事業については、学校現場から教育センターの電話相談対応として派遣されている指導主事を今年度から１名増員していることから、開設時にメタバースに対応する職員としては２名体制でスタートしたいと考えています。また、必要に応じて、臨床心理士等も対応できる体制を取ってまいりたいと考えておりますとの答弁がありました。

なお、全ての案件について意見の表明はありませんでした。

以上、経済教育分科会の分科会長報告といたします。

委員長 ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 質疑なしと認めます。
次に、藤田建設分科会長。

建設分科会長 建設分科会での審査につきまして、御報告いたします。
当分科会では、送付されました予算案件３件の審査を行いました。
以下、審査の概要を申し上げます。
議案第８８号中、活力都市創造部所管分の地域拠点等動的データ分析事業について申し上げます。
委員から、人流等分析システムによる動的データを活用することだが、具体的にどのようなデータを取得することができるのかとの質問がありました。
これに対し、当局から、スマートフォン等のGPS位置情報を用いた動的データを活用するもので、例えば鉄道駅や商業施設などを登録することで、その施設の利用者数、性別、年齢構成、居住地などに加え、周辺道路における自動車交通量についても把握することができます。また、このような動的データは最大で５年間遡って取得することができますとの答弁がありました。
なお、全ての案件について意見の表明はありませんでした。
以上、建設分科会の分科会長報告といたします。

委員長 ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

質疑なしと認めます。

以上で、質疑は終結いたしました。

これより、議案第90号 令和7年度富山市水道事業会計補正予算（第1号）を起立により採決いたします。

本案件は、原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

委員長

起立多数であります。

よって、本案件は原案可決されました。

次に、議案第91号 令和7年度富山市公共下水道事業会計補正予算（第1号）を起立により採決いたします。

本案件は、原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

委員長

起立多数であります。

よって、本案件は原案可決されました。

次に、議案第88号、議案第89号、議案第92号、以上3件を一括して採決いたします。

各案件は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

御異議なしと認めます。

よって、各案件は原案可決されました。

これで、6月定例会の当委員会に付託されました、全議案の審査は終了いたしました。

委員各位に御相談申し上げます。

委員長報告については、正・副委員長に御一任願いたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

それでは、そのように取り計らいます。

これをもって、令和7年6月定例会の予算決算委員会を閉会いたします。

令和7年6月定例会
予算決算委員会（全体会）記録署名

委員長 高 田 真 里

署名委員 細 川 博 徳

署名委員 野 上 明 人